



発行 東京片貝会
埼玉県新座市栄1-5-5
(〒352-0014) 阿部修次
電話 0484-78-4494

新春は片貝会とともに

新年会御案内

期日 平成15年1月26日(日)午後一時
会場 池袋 かんぽヘルスプラザ東京

新しい年がすばらしい躍進の一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。互いに健康を祝し、かつ益々の発展を祈念して、恒例の新年会を開催致します。賑やかに盛り上げ、楽しい会合にしたいものです。お友達を誘いあって、どうぞ多数ご参加下さいませようご案内申し上げます。

記

一、日時 平成15年1月26日(日)午後一時(正午より受付)

一、会場 かんぽヘルスプラザ東京

東京都豊島区東池袋4-7-7 ☎03(5952)6881

一、会費 七、〇〇〇円

一、会費 返信は1月15日(水)までに届くようお願い致します。

東京片貝会 会費
会費は、年二〇〇〇円とさせていただきます。お申し込みは、年二〇〇〇円とさせていただきます。会報と同封されます郵便振込用紙、または新年会、総会で納入をお願いします。母校を励ます会のご支援は、三面をご参照下さい。

会の動き

理事会
於：かんぽプラザ 5/23

阿部会長以下16名
総会の話し合い。

第43回総会

6/23

於：かんぽプラザ
出席者 84名
二面を参照下さい。

J A片貝東京光ヶ丘出店へ
阿部会長激励訪問 7/20

理事会

7/28

於：かんぽプラザ
阿部会長以下19名
総会の反省会

佐藤孝二氏監査退任
記念品贈呈

片貝モニメント除幕式

8/7

片貝商工振興会モニメント
ト除幕式阿部会長出席
一面参照下さい。

片貝祭厄年の会へ寄贈 9/1

片貝祭厄年(42才、50才、
60才、伝統芸能保存会)
の各事務所へ清酒二本ずつ
寄贈。

片貝祭り奉納 9/10

阿部会長出席
奉納相撲場棧敷会員19名集る

片貝祭り の願いと感謝

大花火河開

片貝祭りは九、十の両日、神社奉納の花火大会をメインに開催された。九日の昼に降雨があったものの、夜の花火には全く影響がなく、両日午後十時打ち上げの四尺玉は、見事な大輪を夜空に咲かせ、観衆から大きな拍手が沸き起こった。選暦を始め人生の節目に、片貝中学校同級会が奉納の豪華花火も評判を呼んだ。NHK朝の連続テレビ小説「こころ」のヒロインが九日、棧敷席を訪れ挨拶する一幕もあり、華やいだ話題もあり賑わった。入出は、九日五万七千名、十日五万五千名だった。平日のせいかわ、好天に恵まれたにもかかわらず、道路状況は昨年、一昨年と比べるとさほど渋滞はなかった。

NHKテレビ小説「こころ」片貝がロケ地に

来年の三月三十一日から放映のNHK朝の連続テレビ小説「こころ」のロケ地に片貝町が決まった。ヒロイン役の中越典子さん(22)が九日関市長を表敬訪問し、片貝まつりの花火について談笑した。九日は、棧敷席で花火を見



片貝まつり
NHK朝の連続テレビ小説「こころ」のロケ地となった片貝町。ヒロイン役の中越典子さん(22)が九日関市長を表敬訪問し、片貝まつりの花火について談笑した。

片貝パイパス開通記念 煙火筒モニメント建設

片貝商工振興会は、パイパス全線開通記念と地域の活性化、花火の片貝PRなどを目的に、屋敷クラブ隣接地に花火の打ち上げ筒のモニメントを建設、八月七日除幕式、夕方から多彩な記念イベントを行った。



片貝町の商店は買い物客に抽選券を発行、尺玉、七号、五号、四号、三号の本物の花火が景品のユニーク企画。片貝まつりでメッセージ入りで打ち上げられた。

片貝中「私たち一線記者」 花火作りレポート 新潟日報に大きく掲載

片中の生徒さん七名が、片貝まつり・花火作りの取材をし、九月三十日、新潟日報の一面全面に掲載された。職人の心意気、思いと歴史、観光客を主テーマとして、分かり易くレポートされている。要旨を三面に紹介する。

小千谷フェア 10/19
於：小千谷学生寮(杉並)
阿部会長 激励訪問。

励ます会教育講演会 11/8
於：片貝中学校
出席 阿部会長
藤塚副会長
本田励ます会会長
三面を参照下さい。

片貝祭り奉納 9/10
阿部会長出席
奉納相撲場棧敷会員19名集る

第43回東京片貝会総会

故郷を思い盛況に開催

平成14年6月30日
かんぽヘルスプラザ東京

定例の総会は、ワールドカップ決勝戦で盛り上がる六月三十日開催された。昭和五十年卒業生を始め、67名の会員が出席、故郷からも川上協議会長など17名の参加、変わらぬ絆を確かめた。

総会は定刻に開会、阿部修次会長は、片貝からの大勢の参加へのお礼、会の行事も滞りなく終了した。故郷あつて



の会で、発展を祈っていると挨拶があった。会計報告、監査報告の後、母校励ます会藤塚悟会長から、片貝小、片貝中へ各々十万円相当の図書購入費を贈呈した。(関連記事三面)その後理事一部改選の報告と承認がなされ、第一部は終了した。

懇親会は、来賓の紹介から始まり、来賓を代表して川上議長は、片貝バイパスの開通のこと、総合センター建設への経過、会報(協議会)の作成に着手したことなど、片貝訛りで近況報告がなされた。

長老の山口三郎氏の乾杯の後、宴会に入った。喉とお腹を潤し、来賓のお話があったが中でも異色な片貝医院の根本忠様、木造り研究の永井民子様(来迎寺)の「片貝の素



晴しき」の話に大きな拍手が沸いた。今回は、片貝伝統芸能保存会(名塚孝一会長)の出席を頂き、少数精鋭ながら懐かしいシャガリを聞いた。

ファイナレは、恒例の木造りを全員で大合唱し、松下利夫氏の中メ、吉井陽氏(片貝)の万歳三唱で、来年も元気で再会を誓い幕となった。

参加者のお土産に「ふるさと」の味、片貝産のコシヒカリを頂き散会となった。

J A片貝町から
【総会出席者氏名(敬称略)】

〔昭和5〕10〕
山口三郎、浅田鉄二、芋川とし

〔昭和11〕20〕
佐藤ヨシ、太刀川善藏、小宮秀夫、安部源一、山田チエ、大矢常吉、松下利夫、山口光雄、小宮幸雄、吉原俊六、浅田栄三、小宮武夫、佐藤昭六、上田益美、西山和子、松上美津江、岸シズ、気田登美、石井ユリ、江澤キヨ、三重堀清

〔昭和21〕30〕
吉原三代治、安達弘男、清水敏雄、黒崎晴郎、高野賢、清水好男、佐藤安治、神林勝夫、新野次朗、安達和司、阿部修次、小宮きよ、川合ツヤ、黒崎正、大塚順一、浅田義男、安達太、忍足良子、神林佳子、小宮としえ、小野塚茂、中村恵美子、石上俊夫、横尾みちえ、青木マツエ、石川春子、吉原勉、鯉島昭雄、木下伸、吉井均

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子
【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子
【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

〔昭和31〕43〕
藤塚悟、大塚国夫、小宮善興、小野塚清、黒瀬良子、芝満男、安達弘、本田秀幸、吉原敏明、松井京子、吉井新平、内藤富美子
【来賓出席者名(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【祝儀(寄付金者名御礼)(敬称略)】
川上東陽、吉井陽、吉原正幸、友田明石、吉原芳郎、名塚孝一、浅田正平、大矢幹雄、三村孝志、矢久保寿、安達良一、根本忠、山口敏郎、阿部尚、相崎一夫、新野弘幸、永井民子

【住所表示・電話番号・変更】

- 昭2 日下部政子 ☎03-5930-891
- 昭10 西田 善作 ☎03-3800-1107
〒116-0012 荒川区 東尾久8-9-1
- 昭21 相崎トミ代 ☎043-277-4055
〒261-0011 千葉市 美浜区 真砂2-15-3-901
- 昭21 新野 幹郎 ☎045-943-8858
〒224-0055 横浜市 都筑区 加賀原1-3-8
- 昭21 小林 愛子 ☎0495-3-0273
- 昭21 沼田 愛 ☎03-5709-3822
〒140-0015 品川区 西大井1-11-12-203
- 昭25 佐藤 尚己 ☎0475-55-1763
- 昭26 樺沢工 イ子 ☎046-268-2123
〒242-0024 神奈川県 大和市 福田1583-14

- 昭26 高野 誠春 ☎03-5697-7708
〒120-0005 足立区 綾瀬3-10-1 リブル 綾瀬301
- 昭26 千葉 悦子 ☎048-255-7111・8809
- 昭27 大平 アイ ☎231-0026 川崎市 高津区 久末1600-1-38
- 昭32 諸我 時男 ☎0471-76-4528
〒277-0033 柏市 増尾8-22-9
- 昭37 本田 秀幸 ☎03-5482-5623
〒143-0023 大田区 南久が原2-32-10
- 昭38 小野塚和夫 ☎03-3906-5150
〒115-0052 北区 赤羽1-6-16
- 昭38 芝 強 ☎0423-71-8960
〒206-0034 多摩市 舞鶴6-8-5-506

【御逝去】
謹んで哀悼の意を表します。
小宮竹次 (昭6卒)
平成十四年三月三十日
佐藤彦一 (昭8卒)
平成十四年九月二十八日

第20回 母校を励ます会講演会

「いっしょを育む外科医を目指して」

吉井 新平 氏 (昭和40年卒 つどい会)
平成十四年十一月八日 片貝中学校にて

母校を励ます会の活動の一環として、片貝小高学年と中学の生徒さんに教育講演会を開催しており、今回は20回目を迎えた。



講師は、山梨大学第二外科助教授の吉井新平氏で、ご自身で執刀された心臓手術を、ビデオで紹介されながらの講演でした。手術された8ヶ月の女児をとらしての海外心臓移植の現実について話され、日本国内では15才未満の臓器の提供は認められておらず、海外での手術となるが、倫理的、経済的な問題があり厳しい状況といえるようです。

先生は肺、心臓の手術を昨年150回執刀されたこのことで難しい手術の決断や、手術中の決断の重要さを分かり易く話された。

外科医は手術が始まると誰も助けてはくれない。失敗は患者さんの死である。悩みながら決断をしていかなければならない。リラクセスしたい

時は、故郷片貝を思い出す。片貝は美しい。美しい町に生まれた誇りを持っていきたいと結ばれた。最後に花束贈呈がありました、大盛会でした。



東京片貝会主催の教育講演会「いっしょを育む外科医を目指して」講師 山梨大学第二外科助教授 吉井新平先生

母校を励ます会 図書費寄贈報告

会員の皆様の母校への温かい励ましの「図書費寄贈」は6月30日の総会の席で、藤塚母校を励ます会会長から、片貝小学校矢久保教頭先生、片貝中学校三村教頭先生へ、十万ずつ贈呈されました。

委員の皆さまのご支援に感謝申し上げます。今後共、宜しくお願いいたします。

基金協力者氏名 (敬称略・順不同)

- 高橋忠夫、川村朝子、野田正輝、吉原勉、軍司雅子、出口操、寺町明美、石黒ミズ、太刀川三郎、高橋一郎、藤塚文頭、内山キミ、関牙子、中野みちよ、佐藤彦、橋本宮下愛子、小川茂雄、内海光子、神林貞俊、友田善智、山口弘、清水敏雄、長岡利夫、佐藤裕一、山本文子、日下部政子、浅田達夫、大塚功績、佐藤正志、久賀友作、黒崎勝、天野八重子、森下昭、丸山恭次、小野塚利夫、石上俊夫、松田フミ、松岡規子、山口三郎、芋川とし、大矢常吉、松下利夫、小宮幸雄、浅田栄三、小宮武夫、吉原三代治、安達弘男、神林勝夫、新野次朗、安達和三、阿部修次、黒崎正、小野塚茂、中村恵美子、横尾ミチエ、藤塚楳、大塚国夫、小宮善興、安達弘、本田秀幸、吉原敏明、松井京子、内藤富美子、岩片智恵子、吉原新作、佐藤尚高、小野塚清、黒崎孝造、山口ヨシ、松本キキ、黒崎真知子、星野イキ、浅田松夫、小宮繁雄

「片貝の花火」レポート 片貝中 新潟日報に載る

新潟日報社のNIE「教育に新聞を」の取り組みのテーマとして、片貝中学校の生徒さんが、町の自慢の「片貝の花火」取材し、平成十四年九月三十日の新聞の「真面目に掲載された」リポートは、私達の知らないことも分かり易く説明してあるが長文であり、ポイントを紹介します。

思いと歴史

「収穫の喜び 神に感謝 熱狂高じてギネスに挑戦」片貝の花火は、泉州堺より伝わり、江戸時代中期になると村を挙げて熱中。明治二十四年には、日本一の三尺玉を打ち上げた。昭和五十五年頃、あるテレビ局で三尺三分玉の打ち上げがあり、片貝では、三尺三寸玉を、そして昭和六十年に、四尺玉を打ち上げギネスブックに載った。

職人の心意気

「欠点見直し精度向上 一年の苦勞大輪に込め」片貝煙火工業(本田正憲社長)を訪ね、花火を作る苦勞と夢を聞いている。

四尺玉の製作

「四尺玉は完成させるまでに一年近くかかる。しかし乾燥させたりするので、一日中作つてはならない。片貝祭りが終わると、すぐ次の年の四尺玉を作り始める」



観光客

(祭典支えるサポーター) 片貝祭りの当日、観光客にインタビュを試みた。

柏崎市市のS(二十八)さんは、「関越自動車道小千谷インターのちらしで片貝祭りを知り、四尺玉を見にきました。石川県から来た家族連れは五年前に一度来たことがあり「もう一度四尺玉が見たい」と訪れた。

愛知県から来た男性(十九)はラジオで知り、仕事を休んで、キャンピングカーで来たそうです。



豊栄市のK(三十三)さんは、「四尺玉もすこかったけれど、還暦の花火六十連発もすこかった。」

観光客をインタビューして「片貝祭りは地元の人だけが支えているのではなく、祭りに訪れる人たちの存在もとても大きな力になっている」と感想が述べられている。

ふるさと・は・今

H 14年6月から
H 14年11月まで

母校近況

■小学校

児童、生徒数一段と減

小千谷市内の各小中学校の児童、生徒数は少子社会となりその傾向は一段と強まっている。(一)は前年との差。

片貝小学校 ①四六②四六

③四一④三七⑤五五⑥五五

合計 二八〇(一三)

片貝中学校

①五一②五五③四九

合計一五五(一19)

小千谷ジュニア陸上大会

小千谷ジュニア親善陸上競技大会が8月18日開催された

小学校の部では、五年女子の走幅跳の優勝を始め8名が入賞した。

市内小学校陸上大会

新潟県小学校親善陸上競技第四十三回小千谷大会が9月

27日開催され、男女走幅跳、ソフトボール投げで優勝し18名が入賞し、頑張った。

科学作品展・研究発表会

第38回小千谷市児童生徒科学

作品展覧会・科学研究発表会が作品約二百点を集め開催された。片貝小では作品展で

金賞1名、銀賞2名、発表会で優秀賞1名、佳作賞3名が受賞し日頃の研究、勉強の成果が認められた。

■中学校

市内球技大会今年も頑張る

市内中学校球技大会が6月12、13日開催され、片貝中は

三種目で優勝、その他の種目でも大活躍をした。少ない生徒数での頑張りは素晴らしい。

バスケットボール 優勝

バレーボール 優勝

卓球女子団体 優勝

個人 二、三、四位

野球 準優勝

女子ソフトテニス 準優勝

中越地区中学校大会

大会は7月10日、11日の両日開催されたが、残念ながら片貝中勢は県大会へ駒を進められなかった。

バスケットボール 三位

バレーボール 三位

卓球女子個人 五位

市内陸上大会

第49回市内中学校陸上大会は6月6日開催され、熱戦を繰り広げた。片中は一年百mで優勝し、14名が入賞した。

ライオンズ杯

野球、バレーボール優勝

第13回小千谷ライオンズクラブ杯争奪大会が開催され、野球中学の部、女子バレーボールで片貝中が共に優勝した。県少年の主張小千谷・北魚沼大会で大矢さん優勝。

わたしの主張大会は、小出で開催され、12名が参加したが片貝中三年の大矢洋美さんが「今、ここにいること」を発表、優秀賞を受賞した。

市内新人球技大会

新入大会が9月26日開催され、片貝中はバスケット、卓球女子団体、個人で優勝、バレーソフトテニスで三位と来年の活躍が期待される。

ESCAPE

片貝町健康ウォーク

第六回片貝町健康ウォーク

(JA片貝町主催)は五月二十六日、十三キロコースに二百十名が参加して開催された。ドリンク、トン汁、日本酒などの大サービスに和気あいあいと新緑に汗をかいた。賑わった「みたらせまつり」。

四之町は、「浅原神社の御神体が出現したと伝えられる池」みたらせ「を地域活性化に活かそうと」みたらせまつり「を開催している。ユニークなアイデア企画や、そば、だんご店などもあり、大勢の人でこったがえした。



クラス対抗ゴルフで世代交流
第六回片貝町クラス対抗ゴルフコンペは六月二十三日小千谷カントリークラブで開催、第24回卒が優勝した。

東京で小千谷の雪大人気

JA片貝も参加している、ふるさと出店協議会は小千谷の各種物産と十一トンダンブ2台分の雪を持参して、七月二十、二十一の両日、練馬区の光が丘公園で開催された「ふるさと交流物産展」に参加。持参した品はすべて完売。真夏の雪も大好評であった。



甲子園球児に片貝の血筋

第八十四回全国高校野球の新潟県代表、日本文理の海洋選手の母親は、片貝高見出身旧姓鶴巻美智子さん。甲子園では一年生ながら五番でヒット、本打ったが惜しくも敗退。

片貝巨人軍応援ツアー

八月十日、東京ドームへ総勢七十八名で観戦。巨人が快勝し大いに盛り上がった。本ツアーは大好評で、今回は特に指定席が巨人応援団の前で大喜びであった。

JA片貝 乾燥機から出火
九月二十五日午前二時頃、沼田の片貝町農協カントリーエレベーター施設内の「もみ乾燥機」稼働中に、タンク内のもみ米から出火。駆けつけた地元消防団員などが中心となり、約三十トンのもみ米を運び出し、可燃物除去消化で鎮火した。素早い対応で被害は最小限に止まった。

JA片貝合併予備調印終わる
JA片貝町とJA小千谷市は一行行政JAを目指し合併へ向け諸準備を進めていたが、合併予備契約調印が十月四日に行われた。来年三月一日「JA越後おぢや」としてスタートする。

任期満了の市長選挙
関市長が無投票当選
市長選挙は十一月十日に告示されたが、片貝町の現職関広一さん(67)一人の立候補であったため、二期目の無投票当選が決まった。



「公平公正を基本に、先人が培ってきた文化伝統を活かしたまちづくりを全力投球する。」と街頭で支持を訴えた。

花火テーマ 当地ソング
「片貝絶唱」完成
高梨町の山崎勝さんは、このほど、片貝まつりの花火で知り合い、結婚して幸せに暮らす実在の夫婦を題材にして「片貝絶唱」を完成された。作曲は安達美登里さん(一之町)。実費で頒布する。

仏壇伝統工芸功績
石上一夫さん勲六等瑞宝章
三之町の石上仏壇店店主の石上一夫さん(68)が勲六等瑞宝章を受章した。文化元年創業で六代目。皇居で天皇陛下に拝謁の栄を得た。



佐藤 彦一さん御逝去

前副会長として活躍され、又歴史的に大変貴重な「やせかまど」の実物写本を会に寄贈されました。会より生花を贈り会を代表して新野会計が葬儀に参列しました。生前の御指導に感謝し心から御冥福をお祈りします。

合掌 阿部

あとがき
八月、田満州ハルピンの生地を訪ねました。若い頃の両親が過ごした町並みを歩き、感動しました。(小宮)